

発行：川崎市社会福祉協議会ボランティア活動振興センター 地域福祉情報バンク

川崎市中原区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター6階

電話：044-739-8720/FAX：044-739-8739/Email：jyoho@csw-kawasaki.or.jp

2022年春号の内容は…

★2021年図書・DVD 年間貸出ランキング発表！

★「伴走型支援」に関連する図書の紹介

★電話相談実務者研修の報告

★新着図書&DVDの紹介



…など、今号も情報満載でお届けします！

2021年 図書・DVD 年間貸出ランキング発表！

【図書】(書名/著者名/出版社)

- 1位 リエゾン こどものこころ診療所 / 竹村優作・ヨンチャン/ 講談社
- 2位 ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー/ ブレイディみかこ/ 新潮社
- 3位 そして、バトンは渡された/ 瀬尾まいこ/ 文藝春秋
- 4位 健康以下、介護未満 親のトリセツ/ カートン/ KADOKAWA
- 5位 家族だから愛したんじゃないくて、愛したのが家族だった/ 岸田奈美/ 小学館

図書
1位

リエゾン

悩める親子に向き合う
“児童精神科医”を描く
医療漫画

【DVD】(タイトル/制作・販売)

- 1位 ケアニン～あなたでよかった～/ ライブラリーコンテンツサービス株式会社
- 2位 優しい認知症ケア ユマニチュード (3枚組) / NHK厚生文化事業団
- 3位 君が僕の息子について教えてくれたこと/ NHKエンタープライズ

DVD
1位

ケアニン

新任の介護福祉士が
認知症ケアを通して介護
の魅力に気づく感動作

2021年(1月～12月)の図書・DVD貸出件数は前年よりも662件増え、1758件となりました。
「マンガでわかる〇〇」という本や福祉関連のコミックなど、気軽に読めるものが増えたことも、貸出数の増加につながったのかもしれない。

「認知症」や「傾聴」に関するものは種類が多いため、ランキング結果には反映されませんでした。毎年、貸出数は多くなっています。また、「発達障害」「オープンダイアログ」「ひきこもり(8050問題)」に関するものも人気でした。

福祉関連の図書というと、少し重めの内容が多い印象ですが、ランキング5位に入った岸田奈美さんの作品は、笑えて泣ける家族のエッセイ。前向きな気持ちになれる1冊としておすすめです。



おすすめ



話題の本・人気の本を紹介
(ボラセン入口にて)

新着図書



まずは新着図書を
チェック！

マンガ



読みやすいものが
揃っています



特集

「伴走型支援」に関連する図書の紹介

～地域福祉情報バンクで貸出しています～



地域共生社会において、「課題解決型支援」と「伴走型支援」は支援の両輪として位置付けられています。

「課題解決型支援」とは、支援を必要としている人に対し、具体的なプランを立て、課題解決を目指す支援です。それは社会にとって不可欠ですが、それだけでは社会的孤立を含んだ問題を解決することは難しいのが現状です。

一方、「伴走型支援」とは、経済的困窮や社会的孤立の状態に陥ってしまった人の伴走者となり、その人の人生に寄り添い、つながり続ける事を目指しています。深刻化する「社会的孤立」に対応するためには、たとえ問題が解決できなくても「つながり続ける」ことが大事になってきます。

今号では、「伴走型支援」の提唱者である奥田知志さんの著書を多くご紹介しています。

なぜ今、「伴走型支援」が必要なのでしょう？ これからの支援のあり方について一緒に考えてみませんか。



伴走型支援 新しい支援と社会のカたち

困窮や孤立、今日的なニーズへの支援として「伴走型支援」への期待が高まっている。この支援を通して社会はどのように変わるのか。10名のパイオニアが実践や研究の中から紡ぎ出す貴重なメッセージから、その概念や方法、課題や可能性について多面的に考える。
(奥田知志・原田正樹/編／有斐閣／2021年発行)



いつか笑える日が来る

あなたも私も「おんなじいのち」という普遍的価値を掲げて歩むなかで、ホームレスの人たちから教えられたことは？「いのちの格差」が言われるこの時代にあって、聖書はどんなメッセージを送ってきているのか？
(奥田知志/いのちのことば社／2020年発行)



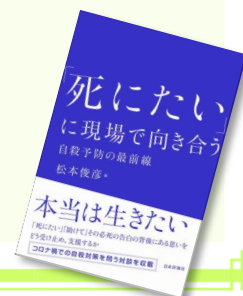
貧困と生活困窮者支援

相談援助活動の原点を、伴走型支援の提唱者である奥田知志氏の講演「問題解決しない支援」に探り、家計相談事業と学校/保育ソーシャルワークの実践例から方法と課題を明示。領域ごとに研究者が論点・争点をまとめ、理論と実践の好循環をめざす。
(埋橋孝文/編／法律文化社／2018年発行)



「死にたい」に現場で向き合う

「死にたい」「助けて」その必死の告白をどう受け止め、支援するか。行政、医療、NPO等さまざまな現場の実践知を紹介する。コロナ禍での自殺対策を問う対談を収録。
(松本俊彦/日本評論社／2021年発行)



関連図書

- つながり続けるこども食堂／湯浅誠／中央公論新社／2021年発行
- 「困難事例」解きほぐす／伊藤健次・土屋幸己・竹端寛／現代書館／2021年発行
- 西成のNPO法人代表が語る生活困窮者のリアル／坂本慎治／信長出版／2021年発行
- 「助けて」が言えない／松本俊彦／日本評論社／2019年発行
- ひとりぼっちをつくらない／勝部麗子／全国社会福祉協議会／2016年発行

「逃げおくれた」伴走者

「自己責任」を言い訳に人を助けられない社会から、安心して出会いつながる社会へ。コロナで気づいた普遍的価値「いのち」を守るために！
(奥田知志/著／本の種出版／2020年発行)





「電話相談実務者研修」を開催しました



2022年2月18日（金）、川崎市内の福祉関係者向けに「電話相談実務者研修」をオンライン形式にて開催し、41名が受講しました。

昨年に引き続き、埼玉学園大学の杉山雅宏先生を講師にお迎えし、「聴く力を養う ～電話相談の専門性～」をテーマに

- ・電話相談の機能、役割
- ・対応の基本姿勢
- ・相談員が苦慮しがちな電話への基本対応などについて教えていただきました。

地域包括支援センター、障害者相談支援センター、病院、社会福祉協議会など、川崎市内の様々な分野で相談業務に携わっている方々が参加し、熱心に耳を傾けていました。

参加者からは…

- ・今まで困っていた電話（攻撃的、頻回、長時間 等）への対応策を知ることができた。
 - ・相談を受けるにあたって、自分自身の充実した生活が大切であることを学んだ。
 - ・『コップの理論』を心に留めて業務に活かしたい。
- などの感想が聞かれました。

今回の研修が、相談員の皆様の一助となれば幸いです。

<講師紹介>

杉山 雅宏 氏

埼玉学園大学人間学部

心理学科教授

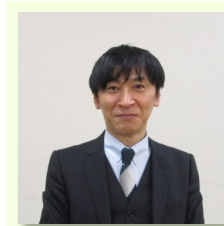
博士（心理学）

臨床心理士、精神保健

福祉士、学校心理士スーパーバイザー、

シニア産業カウンセラー、日本電話相談

学会副理事長、日本福祉心理学会常任理事



参加者の感想（アンケートより）



自分を見つめ直す研修だったのが、とても良かった。こういう研修はあまりないので、元気をもらえる貴重な研修でした。

支援者自身のメンタルケアが大事であることを痛感しました。

これまでの自分の傾聴方法を振り返り、反省することができました。

電話相談だけでなく、相談業務に携わる中で相談者の方や自分自身との向き合い方を学ぶことができ、とても有意義な時間でした。



コップの理論とは…

「コップの理論」とはカウンセリングに使われる会話の考え方です。

まず自分のコップを空にする。
これで相手の話を受け入れることができる。
次に相手のコップに入っているものを自分のコップに移す。
すると相手のコップが空になるので、こちら側の助言が相手に受け入れてもらいやすくなる。
という考え方です。

相談をしたい方の心は「コップから水が溢れかかっている状態」なのだと思います。
相談員が上手に相談業務を行なうには、「自分のコップを空にしておくこと」＝「自分の心に余裕を持つこと」が大切です。



杉山雅宏先生の著書は情報バンクで貸出しています



丁寧にいきる
自分心コミュニケーション
(悠々舎／2020年発行)



生きる子育て法
不登校の子どもと共に
(悠々舎／2021年発行)





新着図書&DVDの紹介

蔵書検索は「ふくみみ」で！
<http://k-fukumimi.com/>



【図書】（書名／著者・編者名／出版社）

- 差別はたいてい悪意のない人がする／キム・ジヘ／大月書店
- ケアとは何か 看護・福祉で大事なこと／村上靖彦／中央公論新社
- 壁を壊すケア 「気をかけあう街」をつくる／井手英策／岩波書店
- ウェルフェア トリップ 福祉の場をめぐる小さな旅／羽塚順子／アノニマ・スタジオ
- 任意後見の実務 専門職後見人が初めて受任する際のポイントと書式記載例／勝猛一／日本加除出版
- セルフ・ネグレクトのアセスメントとケア／岸恵美子／中央法規出版
- 落合陽一34歳、「若い」と向き合う 超高齢社会における新しい成長／落合陽一／中央法規出版
- 家族に頼らないおひとりさまの終活／奥田周年／ビジネス教育出版
- ケアマネジャーはらはら日記／岸山真理子／フォレスト出版
- 非正規介護職員ヨボヨボ日記／真山剛／フォレスト出版
- 道路を渡れない老人たち リハビリ難民200万人を見捨てる日本。「寝たきり老人」はこうしてつくられる／神戸利文／アスコム
- ムスコ物語／ヤマザキマリ／幻冬舎
- 児童養護施設で暮らすということ 子どもたちと紡ぐ物語／榎原真也／日本評論社
- 学校、行かなきゃいけないの？ これからの不登校ガイド／雨宮処凛／河出書房新社
- スローコミュニケーション わかりやすい文章 わかちあう文化／野澤和弘／スローコミュニケーション
- ふくしごと 福祉で働く人のための、障害者支援の現場から伝えたい未来を考える力／冨塚康成／good. book
- 障害をしゃべろう！「コトノネ」が考えた、障害と福祉のこと（上巻・下巻）／里見喜久夫／青土社
- ADHDコンプレックスのための「脳番地トレーニング」／加藤俊徳／大和出版
- 発達障害サバイバルガイド「あたりまえ」がやれない僕らがどうにか生きていくコツ47／借金玉／ダイヤモンド社
- 社協・行政協働型コミュニティソーシャルワーク 個別支援を通じた住民主体の地域づくり／田中英樹・神山裕美／中央法規出版
- 社協を問う 改革に挑んだ女性会長の物語／小野友貴枝／文芸社
- 民生委員のための経済的困窮者支援ハンドブック 実務に役立つ35のQ&A／小林雅彦／中央法規出版
- お天道様は見てる 尾畠春夫のことば／白石あづさ／文藝春秋
- 相談支援の処「法」箋 福祉と法の連携でひらく10のケース／青木志帆／現代書館



- 親をおりる「ひきこもり」支援の現場から／明石紀久男／彩流社
- 「ひきこもり」から考える <聴く>から始める支援論／石川良子／筑摩書房
- ソーシャルワーカーが葛藤を乗り越える10のエッセンス／川村隆彦／中央法規出版
- 誤作動する脳／樋口直美／医学書院
- 『ただの空気』が吸えなくなりました。化学物質過敏症で無職になった話／金子ユリ・武濤洋・吉野あすも／ぶんか社
- 「うつ」の効用 生まれ直しの哲学／泉谷閑示／幻冬舎
- さいごはおうちで 在宅医たんぼ先生物語／永井康徳／主婦の友社
- 東大教授、若年性アルツハイマーになる／若井克子／講談社
- うつ病九段 プロ棋士が将棋を失くした一年間／先崎学／文藝春秋
- 19番目のカルテ 徳重晃の問診(1)～(3)／富士屋カツヒト・川下剛史／コアミックス
- ヤマザキマリの人生談義 悩みは一日にして成らず／ヤマザキマリ／毎日新聞出版
- それでいい。自分を認めてラクになる対人関係入門／細川貂々・水島広子／創元社
- やっぱり、それでいい。人の話を聞くストレスが自分の癒しに変わる方法／細川貂々・水島広子／創元社
- セルフケアの道具箱 ストレスと上手につきあう100のワーク／伊藤絵美／晶文社
- 言葉を失ったあとで／信田さよ子・上間陽子／筑摩書房
- 家族と国家は共謀する サバイバルからレジスタンスへ／信田さよ子／KADOKAWA
- 弱さの研究 「弱さ」で読み解くコロナの時代／向谷地生良・高橋源一郎・辻信一・糸川昌成・向谷地宣明・ベての家の人々／くみぷる
- いのちの車窓から／星野源／KADOKAWA
- 森永卓郎の「マイクロ農業」のすすめ／森永卓郎／農山漁村文化協会
- 海をあげる／上間陽子／筑摩書房
- 思いがけず利他／中島岳志／ミシマ社
- 世界は贈与でできている／近内悠太／NewsPicksパブリッシング
- 人を動かす／D・カーネギー／創元社

【DVD】（題名／制作／仕様）

- 企業活動に人権的視点を CSRで会社が変わる・社会が変わる／人権教育啓発推進センター／103分
- 企業活動に人権的視点を② 会社や地域の課題を解決するために／人権教育啓発推進センター／97分

皆様からいただいた
リクエストより 9冊
購入しました！

